


## 1. 自宅の将来について話し合おう！

ご自宅の将来について、記入例を参考に、できる限り関係する方々で話し合った上で記入してください。電話やLINEなどのチャットアプリを用いた会話でも結構です。  
 困難な場合は回答者の方1人で考えて、記入してください。これまでに話し合ったことがある方も、その内容をあらためてお書き下さい。

下記記入例を参考に、ご自宅のよりよい将来を考えてみましょう。

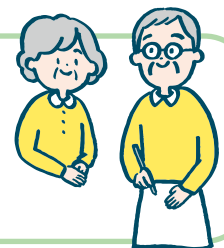
### 子育て夫婦の方の記入例

**回答欄** まだ子育て中なので、息子が就職するまでは、少なくとも今の家に住み続けるつもりでいる。子育てが一段落した後は、妻や私の健康状態を見つつ、必要なら住み替えも検討している。今後も引き続き夫婦で話し合うことに決めた。




### 高齢夫婦の方の記入例

**回答欄** 妻と今は住み替えるつもりはないことを確認し合った。以前から、娘に土地と住宅を相続して住み続けてもらいたい、と考えていた。今回の話し合いで初めて娘にもその意思を伝えた。




### 三世帯同居の方の記入例

**回答欄** 今後、自宅を誰が使うかわからないため、まずは自分たちにできることをしてみようと考えた。市販のエンディングノートを購入し、書き始めることに決めた。その後、親族間でスムーズに相続が進むように、遺言書の作成を行う予定。



### 1人暮らしの方の記入例

**回答欄** 息子が県外に住んでおり、引き継ぐつもりはないと以前から聞いていた。また、他に自宅を引き継ぎたいという親族もいないため、将来は売却を考えていた。そのための手続きがよくわかっていないため、まずは空き家レスキュー窓口と近くの不動産屋に相談した。



## 2. 自宅(資産)のことについて知ろう！

登記簿等を確認し、以下を埋めてみましょう。

種類	<input type="checkbox"/> 土地 <input type="checkbox"/> 建物 <input type="checkbox"/> マンション・アパート		<input type="checkbox"/> 田畑 <input type="checkbox"/> その他( )	
利用形態	例：自宅、別荘、貸家 など		築年数	
名義人 (共有者含む)	持ち分		抵当権	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
所在地				

## 3. 家族のことについて整理しよう！

家系図を書いてみましょう。

